

2008 年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座

《講義録 7 限目》

投稿者:「防災塾・だるま」 中島光明

- ◆開催月日: 2008 年 11 月 13 日(木)
- ◆開催時間: 14:00~16:00
- ◆開催場所: KU ポートスクエア

●テーマ: 地域・企業・家庭の防災カルテと 防災教育



講師: 正木和明 先生
愛知工業大学工学部教授
地域防災研究センター長

愛知県下における防災対策の実情を踏まえ、現地調査による防災カルテと「住民参加型防災マップづくり」の重要性について、熱い思いがほとばしった 90 分間でした。

講演後、活発な質疑応答が展開され、多くの受講者から要望のあった「住民参加型防災マップ」(先生が指導・作成されたもの)を提供いただくことを快諾いただき、貴重なお土産がいただけることになった。

ハザードマップ、防災マップは有用な情報ではあるが・・・もっと生きた情報は無いかな？

→ → **防災カルテを思いついた！**

●防災カルテは、持続的評価と対策が可能になる

- ・家庭防災カルテ (毎年繰り替えして行う)
- ・地域防災カルテ (危険度と防災力が把握できる)
- ・企業防災カルテ (企業の強み＝組織力、若い力、マニュアル)

●防災カルテから「住民参加型防災マップ」づくりの重要性が・・・そして、

- 1) 地震の恐ろしさを知る
- 2) 自分の弱点を知る
- 3) 正しく恐れる
- 4) 対策を立てる

● 防災マップづくり

調査項目(危険な場所、危険なもの、災害の役立つもの)、記入例、調査方法

